

# ちち たんじょうび 父の誕生日

動画リンク：<https://youtu.be/LgsEWBBiK9Y>

今回は「父の誕生日」を学びながら、日本語を勉強しましょう。  
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には " ふりがな " があります。  
後半は少しだけ速く (+20%) なり、漢字に " ふりがな " はありません。  
学習にお役立てください。

## ■自己紹介と私の家族

私の名前は川村美奈といます。30歳で、同じ年の夫の翔太と3歳の息子、陽斗と一緒に暮らしています。普段は家事をしたり、家族と過ごす時間を大切にしています。  
私の実家（父と母が暮らす家）は、私たちの家から車で30分ほどのところにあります。  
近くに住んでいるので、私たちは頻繁に実家に訪問して、父や母に息子の陽斗の成長を見せたり、一緒に過ごす時間を楽しんでいます。父もこの距離のおかげで、いつでも気軽に孫と会えることを喜んでいるようです。

私の父は60歳で、家族をととても大事にしてくれる人です。私が子供のころから、父は仕事が忙しい中でもいつも家族に優しく、私が悩んでいるときにはどんなに疲れていても励ましてくれました。そんな父を私は今でもとても尊敬しています。

父は趣味がたくさんあり、特に釣りが大好きです。週末にはよく早起きして釣りに出かけ、自然の中でゆっくりとした時間を楽しんでいます。私も子供のころ、父と一緒に釣りに出かけた思い出がたくさんあります。釣り場に向かう車の中では、父といろいろな話をし、釣り場に到着してからは魚の釣り方を教えてもらいました。釣った魚を家に持ち帰り、一緒に料理したのも楽しい思い出です。あのころ父と過ごした時間は、今でも私にとってかけがえのない宝物です。

そして今、父は私の息子、陽斗がととてもかわいいようです。父は孫である陽斗に会える日を楽しみにしていて、私たちが実家に行くと、「陽斗、よく来たね！」と笑顔で迎えます。陽斗もおじいちゃんが大好きで、「おじいちゃん！」と元気に駆け寄り、二人はすぐに仲良く遊び始めます。

父は陽斗が少し大きくなったら、一緒に釣りに行くことをとても楽しみにしています。  
「陽斗と一緒に釣りができる日が来るなんて、嬉しいな」と父が話すのを聞くと、私もわくわくした気持ちになります。父と陽斗が、私が子供のころに感じたような楽しい思い出を一緒に作ってくれるといいなと思っています。

## ■父の誕生日計画

私の父の誕生日は11月15日です。この日が近づくと、いつも「今年はどんなふうにお祝いしようかな」と考えます。父は家族のためにたくさん頑張ってくれた人なので、誕生日にはできるだけ楽しんでもらいたいといつも思っています。今年も、家族みんなで力を合わせて、父のために特別なサプライズを計画することにしました。

父は釣りが大好きなので、その趣味を活かしたお祝いを考えることにしました。父がよく行く釣り場は少し遠く、私たちと一緒に行く機会はなかなかありません。そこで、誕生日の前の日に、家族で近くの釣り場に行く計画を立てました。釣り場でのんびり過ごし、父と一緒に楽しむことで、特別な思い出を作りたいと考えたのです。

この計画を実現するため、家族みんなで準備を始めました。夫の翔太も協力してくれて、必要な道具をそろえたり、釣り場までのルートを確認したりしました。また、3歳の息子、陽斗も一緒に行くので、彼が楽しめるように小さなおもちゃやおやつも用意しました。みんなで計画を話し合い、役割を分担することで、スムーズに準備が進んでいきました。

父にはこの計画を秘密にしていますが、きっと驚いて喜んでくれると思います。普段はあまり驚かない父も、今回のサプライズには驚くことでしょう。そして、この釣りの時間を通して、家族みんなで楽しいひとときを過ごし、父のために心からの「ありがとう」を伝えたいと思っています。

## ■特別な一日のためのサプライズ準備

今回の父の誕生日のサプライズは、家族みんなで協力して準備をしました。父は釣りが好きなので、ただ釣りに行くだけではなく、父が心から楽しめる特別な日にしたいと思いました。

まず、父がよく使う釣り道具が少し古くなっていることに気がつき、新しい釣り道具をプレゼントとして用意しました。どの釣り道具が良いのか分からなかったので、夫の翔太と相談し、釣具店で丁寧に選びました。また、釣り場でお昼ごはんも楽しめるように、父の好きな料理をたくさん作ることにしました。父が好きな和食のお弁当や、甘いお菓子も用意し、ピクニック気分楽しい時間が過ごせるように準備しました。

そして、当日の朝は少し早起きして、釣り場をきれいに飾りつけました。ちょっとしたバナナや風船を使って「お誕生日おめでとう」と父に分かるようにメッセージをつけました。釣り場でのサプライズがバレないように、父には釣りの時間まで待ってもらい、その間に家族みんなで最後の確認をしました。

サプライズの準備中、小さなハプニングもありました。風船が飛ばされてしまったり、お弁当を詰めるのに少し時間がかかってしまったりしましたが、家族で協力して乗り越えました。息子の陽斗も、少しでも手伝いたいと風船を持って手伝ってくれて、みんなが一緒に作り上げた温かい雰囲気の準備ができました。

## ■感謝を伝える手紙

今回の父の誕生日には、心からの感謝を伝えるために手紙を書くことにしました。日頃は恥ずかしくてあまり口に出せない「ありがとう」の気持ちを、しっかりと文章にして伝えなかったからです。父は、いつも私や家族のためにたくさんの愛情と時間を注いでくれる人です。そんな父に、今までの感謝を伝えるのに手紙が一番ふさわしいと感じました。

手紙には、子供のころに感じた父の優しさや、成長する中で支えてもらったこと、そして今も変わらずに私たちを見守ってくれていることへの感謝を書きました。特に私が小さいころ、父が何度も釣りに連れて行ってくれたことや、悩んでいるときには一緒に考えてくれたことを思い出しながら、一つ一つ丁寧に書きました。これらの思い出は、私にとってかけがえのない宝物です。

さらに、息子の陽斗もおじいちゃんに一言「だいすき」と書きました。まだ字が書けない陽斗のために、私が一緒にペンを持って書いたものですが、陽斗の気持ちがこもった言葉です。陽斗もおじいちゃんが大好きで、会うたびに元気いっぱい飛びついています。

父にこの手紙を読んでもらう瞬間を想像すると、少し照れくさくもありますが、父が喜んでくれることを願っています。この手紙を通して、普段は伝えられない感謝の気持ちをしっかりと伝えたいと思いました。

## ■家族全員でのサプライズ

誕生日のサプライズ当日、私たちは父より先に釣り場に到着し、準備を整えました。釣り場の周りにバナーや風船を飾り、父が到着した瞬間に「おめでとう！」と言えるように、みんなで隠れて待ちました。母が父を連れて釣り場に到着すると、父は驚いた表情で私たちのほうを見回しました。そして、「おめでとう！」の音が響くと、父は一瞬目を丸くし、すぐに嬉しそうな笑顔を浮かべました。

まず、家族からのプレゼントとして新しい釣り道具を渡しました。古くなった道具を見て、家族で相談しながら選んだ特別なもので、父は道具を手に取り「これはいいね！これでまたたくさん釣れるよ」と感激した様子でした。私たちも父の喜ぶ姿を見て、サプライズが大成功したと感じました。

その後、いよいよ釣りを開始しました。陽斗も初めての釣りに興味津々で、おじいちゃんの横に座って一緒に魚が来るのを待ちました。しばらくして、父が一匹釣り上げると、みんなで「やった！」と歓声を上げ、陽斗も拍手して大喜びしていました。釣りの時間を家族みんなで楽しみ、父も嬉しそうに竿を握っていました。

そして、お昼には、事前に用意していたお弁当をみんなで食べました。父の好きな和食のおかずや、手作りのおにぎり、温かいスープなど、心を込めて作った料理を広げると、父も「これは豪華だなあ」と感心しながら味わってくれました。お弁当を囲んで家族で話しながら食べる時間は、和やかで楽しいひとときでした。

こうしてサプライズは大成功し、父の誕生日を家族全員で心から祝うことができました。父の笑顔と驚きの表情、そして家族みんなの温かい気持ちが、釣り場いっぱいに広がり、私たちにとっても忘れられない素敵な思い出となりました。

## ■家族で一緒に過ごす楽しい時間

釣りを終えた後、私たちは家に帰り、夜ご飯の準備を整えて家族全員でゆったりと過ごしました。父の誕生日という特別な日だったので、父の好きな料理を中心にした夕食と、手作りのケーキも用意しました。食卓に料理が並ぶと、父は少し照れくさそうにしながらも、「ありがとう、こんなに豪華で嬉しいよ」と喜んでくれました。

みんなで楽しく話しながらご飯を食べました。陽斗は父の隣に座り、父が食べているものを興味深く見て、「これ、ぼくも食べていい？」と笑顔で尋ねる姿に、みんなで笑い合いました。父も、陽斗が嬉しそうに食べるのを見て、さらに和やかな表情になっていました。

夕食のあとにはケーキを食べました。ケーキには「お誕生日おめでとう」のメッセージを入れ、ろうそくを立ててみんなでお祝いしました。陽斗も一緒にろうそくを吹き消し、「おじいちゃん、おめでとう！」と大きな声で祝う姿に、父も満面の笑みを浮かべて「ありがとう、陽斗！」と抱きしめました。この一瞬一瞬が、世代を超えた家族の温かい絆を感じさせてくれる時間でした。

その後、父は改めてプレゼントした釣り道具を手に取り、「これ、本当にいい道具だね。陽斗と一緒に釣りに行くときに使いたいな」と嬉しそうに話していました。まだ釣りには少し早いかもしれませんが、陽斗も「ぼく、おじいちゃんと釣り行きたい！」と嬉しそうにしていました。

こうして、父の誕生日を通じて、家族全員が世代を超えて一緒に楽しい時間を過ごすことができました。日本の家族文化では、こうした「世代を超えた家族の絆」がとても大切にされています。

## ■父と家族への感謝

父の誕生日を一緒に過ごし、改めて家族の大切さと父への感謝の気持ちを強く感じました。私も成長し、結婚して子供ができてから、父がどれほど家族のために力を注いでくれたのか、今になってよくわかります。

今回の誕生日で、家族全員でサプライズを計画し、父の笑顔を見られたことが本当にうれしく、心が温かくなりました。また、陽斗と父の触れ合いを見て、世代を超えて受け継がれる家族の絆を感じることができました。こうした時間が、日々の忙しさの中で忘れがちな「家族を大切に作る気持ち」を思い出させてくれるものだと思います。

ちち きょうほんとう す しあわ はな  
父も、「今日は本当にありがとう。みんなと過ごせて幸せだった」と話してくれました。  
ことば き かんじょう いっしょ す じかん とうと ちち せいそ  
その言葉を聞いたとき、家族と一緒に過ごす時間の尊さと、父がこれまでに注いでくれた  
あいじょう おお あらた かんじや きも こ あ かぞく ちち  
愛情の大きさに改めて感謝の気持ちが込み上げてきました。これからも家族とともに、父  
はは たいせつ かんじや きも つた おも  
や母を大切に、感謝の気持ちを伝えていきたいと思ひます。

こんかい ちち たんじょうび かぞく いわ あらた かぞく たいせつ かん  
今回、父の誕生日を家族みんなで祝ったことで、改めて家族の大切さを感じました。

らいげつ はは さい たんじょうび にほん かんれき さい むか ふしめ いわ でん  
来月は、母の60歳の誕生日です。日本には「還暦」という60歳を迎える節目を祝う伝  
とうてき いわ かんれき あら じんせい はし とうと かぞく ゆうじん あつ げん  
統的なお祝ひがあります。還暦は、新たな人生の始まりとして、家族や友人が集まり、健  
こう ちょうじゆ ねが とくべつ きょうじ いわ じゃき はら かんれき ふく  
康と長寿を願う特別な行事です。このお祝ひでは、邪気を払うとされる赤色の服「ちゃん  
ちゃんこ」や、赤色の帽子を着用することもあります。来月は母の誕生日と二人の還暦の  
お祝ひも兼ねて、もう一度、父と母のために家族全員で集まる計画をしています。

ちち たんじょうび とお かぞく きずな ふか わたし たいせつ おも で ひと ふ  
父の誕生日を通して、家族の絆がさらに深まり、私たちにとっても大切な思い出が一つ増  
えました。忙しい毎日の中でも、こうして家族と過ごすひとときをこれからも大事にして  
いきたいと強く思ひます。

ちち たんじょうび  
「父の誕生日」はいかがでしたか。  
らん かんそう おし  
コメント欄から感想をみんなに教えてください。  
べつ どうが あ  
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

